



No.890

H28 2/3 水

国際ロータリー第2530地区 郡山アーバンロータリークラブ

WEEKLY REPORT

2015
↓
2016世界への
プレゼントになろう

○国際ロータリー第2530地区ガバナー／酒井善盛 ○会長／小口憲太朗 ○幹事／蔭山寿一

第28回例会

- 開会点鐘
- 国歌斉唱
- ロータリー歌「奉仕の理想」斉唱
- ロータリーの目的・四つのテスト唱和

ゲスト紹介

蔭山寿一幹事

石黒秀司 ガバナー補佐(郡山RC)
 関根信 中央分区幹事(郡山RC)
 熊田耕治会長(郡山東RC)
 高田藤太郎IM実行委員長(郡山東RC)

会長エレクト挨拶

佐藤功一会長エレクト

インフルエンザが流行しています。去年より1ヶ月ほど遅れていますが1~2月がピークです。予防接種は1ヶ月ほどで抗体ができますので、まだの方はぜひ受けいただきたいと思います。お年寄り、子供、妊婦、持病をお持ちの方は重症化しやすく、発熱、頭痛、関節痛などの全身症状が出ましたら、すぐに受診してください。予防対策はうがいと手洗いです。うがいはまず口の中をすすいでから、喉の奥の咽頭までを何度もかすります。手洗いは石鹼をつけて指の間や爪もよく洗わなければウィルスは落ちませんので、3~5分かけて洗ってください。

小林悦子さん入会式



石黒ガバナー補佐からバッジをつけていただきました

小林悦子さん挨拶



郡山にまいりまして27年経ちました。主人は宮城県人です。初めて就職した喜多方市の病院の佐原元パストガバナーから電話を頂戴し、鈴木尚子先生とのご縁から皆様のご承認をいただき、健康コンサルタントとして入会させていただくこととなりました。よろしくお願ひいたします。

IMのご案内

●石黒秀司 ガバナー補佐・ 関根信 中央分区幹事



今日はIMのPRにお邪魔しました。中央分区10クラブの皆様が集まる研修は真面目にしっかりと、懇親会は楽しく盛り上がるようお願いしております。新入会員セミナーでは私達が講師としてロータリーの魅力をお伝えするつもりです。多くの方のご出席をお願い申し上げます。

●熊田耕治 郡山東RC会長



IMが2月20日(土)にビューホテルアネックスで郡山東RC担当で行われます。元国際ロータリー理事の基調講演の後に、

パネルディスカッションを行います。郡山アーバンRCからは味戸誠一郎様をパネリストに選んでいただき、先日第1回の打ち合わせを行いました。皆様に楽しんでいただける有意義なIMにしたいと思いますのでよろしくお願ひします。

●高田藤太郎 IM実行委員長

第一部は基調講演、第二部はパネルディスカッションです。その後に楽しい懇親会を行います。IMの前に午前11時から新入会員セミナーを行います。

●鈴木尚子 国際奉仕委員長

1月31日に本名徹次様が郡山に来られましたので、ベトナム交響楽団への楽譜寄贈のセレモニーを行いました。挽野喜孝地区国際奉仕委員長も臨席され、松川義行副委員長と私が参加しました。次に演奏予定の楽譜だそうで大変喜んでいただきました。



(写真提供／宮崎登志行さん)

出席報告

渡部宏夫委員長

総員	32名
出席	18名
欠席	14名
出席率	56.25%
前回修正率	62.50%

■スマイルBOX報告

津野順子委員長

石黒秀司様	2/20のIM・新入会員セミナーのご出席を心よりお待ち申し上げます。
関根信様	IMに多くのご参加よろしくお願ひします。
熊田耕治様	IMのご案内にまいりました。
鈴木尚子	小林悦子さんでの入会おめでとうございます。
佐藤功一	小林悦子さん入会おめでとうございます。
蔭山寿一	藤田さん、本日はよろしくお願ひします。
増子ふみえ	藤田さんお卓話楽しみにしてまいりました。
高橋功／渡部宏夫／大山三起雄 橋本弘幸／鈴木かおる／津野順子	



■幹事報告

蔭山寿一幹事

- ①佐久間栄一ガバナーエレクトよりサンディエゴでの国際会議の絵葉書、尚志高校より3月3日の卒業式のご案内、第5回日・タイロータリー親善会議のご案内が来ております。
- ②地区復興支援本部より、記念事業の復興補助金決定の通知が届きました。石黒ガバナー補佐が尽力されました。
- ③本日の理事役員会で新入会員2名が承認されました。

プログラム／会員卓話

■「米山記念奨学会について」

藤田弘美米山記念奨学会委員長



今月は平和と紛争予防・紛争解決月間です。米山記念奨学会は戦争の出来事によりできた事業です。これまでいろいろな方から米山についてお話をありました。地区米山記念奨学会選考委員として活動してきた中で、私なりにお話をさせていただきたいと思います。

米山記念奨学会は米山梅吉さんの功績を讃えて昭和27年に東京RCが始めた事業が全国に発展し、1967年に当時の文部省の許可を得て財団法人ロータリー米山奨学会となりました。米山梅吉さんは1868年(明治元年)に東京で生まれました。戊辰戦争が勃発した年です。5才の時にお父さんを亡くされ、お母さんの実家の静岡で中学まで過ごし、東京に移住して米山家の養子となり、渡米されてダラスRC会員の福島喜三次さんの紹介でロータリーを知りました。郡山RCは米山梅吉さんが中心となってキーメンを召集されたそうで、創立の時には郡山に来られたそうです。

石黒秀司ガバナー補佐／米山梅吉さんは人口10万人の都市に作ろうと考えられ、東北では仙台市と盛岡市が候補だったそうで、仙台RC立ち上げのために行かれた帰りに、郡山RC初代会長の橋本万右衛門を中心とする方が、当時約5万人の人口だった郡山にもぜひ作りたいと思われ、米山さんに無理やり郡山駅で下車していただき、東北で初めてのRCができるきっかけとなったそうで、設立総会の時に「うまく育つか心配だ」と話されたそうです。

お話を伺って米山梅吉さんをいっそう身近に感じることができました。ありがとうございます。米山梅吉さんは帰国されてから東京RCを発足させて初代会長となり、幹事は福島喜三次さんでした。米山梅吉さんは1946年に78歳で亡くなられました。明治維新の動乱の中に生まれ、日清・日露戦争、第二次世界大戦も体験されたわけです。米山梅吉さんは「今後、日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるのは、アジアの国から一人でも多くの留学生を迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ日本のロータリーに最もふさわしい奉仕事業ではないだろうか」と言っていたことから、亡くなられてから遺徳をしのんで東京RC

が事業を立ち上げました。

米山記念奨学会の事業は寄付金で賄われています。会費と共に納めていただく普通寄付と、個人・法人・クラブによる特別寄付の2種類あり、特別寄付は累積され、3万円で準米山功労者、10万円で第1回米山功労者となり、表彰されます。10万円ごとに2回から9回まで米山記念奨学会功労者マルチブル、累積百円で米山功労者メジャードナーとなります。毎週の例会で寄付されている累計額をお知りになりたい方は事務局にお聞きください。米山寄付は税制優遇されます。

米山奨学生を選出するためには、まず7月頃に指定校を決めます。2530地区では福島大学、会津大学、日本大学、東日本国際大学、郡山情報ビジネス園門学校の5校です。10~11月に書類選考、12月頃に面接、2月頃に合否通知、4月にオリエンテーションが行われ、世話クラブがお世話をします。今年は応募者27名のうち合格者は中国、韓国、ネパール、スリランカ、アメリカの11名でした。中国の方が圧倒的に多いのですが、成績、論文、国籍、学校などを考慮して総合的に選ばれました。中央分区では安積RCが世話クラブと決まり、1クラブが検討中です。2014年の米山寄付額は14億1400万円で、12億3400万円が奨学金として、一人当たり7~14万円が支給されました。期間は1~2年で、終了後は福島グローバルRCのチンタカさんが中心となっている学友会に入ります。学友会は31あり、海外では韓国、台湾、中国、ネパール、モンゴルにありますが、新たにスリランカにできることになりました。創立総会は6月25日で、観光を含めて23~26日に、できればぜひ皆様にも出席していただきたいと思います。

◎ロータリー財団寄付者

高橋功／橋本弘幸／大山三起雄

◎米山記念奨学会寄付者

津野順子／橋本弘幸／蔭山寿一
高橋功

◎ポリオ寄付者

蔭山寿一／橋本弘幸



閉会点鐘